

学校司書のおすすめ本

中学校版 No.3

松阪図書館 学校読書室支援センター発行

📖『七月に流れる花』

恩田陸 // 作 講談社 (913 オ)

六月に転校してきたばかりのミチルは、終業式の日、鏡の中に「みどりおとこ」の影を見つけ、思わず逃げ出した。しかし手元には、呼ばれた子どもは必ず行かなければならない、夏流城^{かなしろ}での林間学校への招待状が残されていた。仕方なく五人の少女と古城での共同生活を開始するのだが、城には三つの不思議なルールがあり――。

この夏の物語を少年側の視点で描いた『八月は冷たい城』も続けて読むと更に楽しめますよ。 (よしあら)

📖『WALL・E ウォーリー』

アイリーン トリンブル // 作 偕成社 (933 ウ)

主人公のロボット＝ウォーリーともう一人のロボット＝イブを中心に描かれた物語。二人の関係だけでなく、環境問題やAI問題にも焦点をあてたメッセージ性が強いストーリーです。地球の未来を考えさせられる内容になっています。 (しむら)

📖『モモ 時間どろぼうとぬすまれた時間を人間に
とりかえてくれた女の子のふしぎな物語』

ミヒヤエル エンデ // 著 岩波書店 (943 エ)

都会のはずれの円形劇場に住む女の子、モモ。ここにはたくさんの人たちが話をしにきて、モモはそれを聞いてくれます。そしてモモに話すといろんなことがうまくいきます。ところがある日、この町に灰色の男たちがやってきました。時間とは自分にとってなんだろうと考えてみてください。 (つぼうち)

📖『ぼくにだけ見えるジェシカ』

アドリュー リス // 作 徳間書店 (933 ノ)

クラスで孤立しているフランシス。ある日ジェシカという不思議な女の子が現れて、2人は友だちになります。実はジェシカはフランシスにしか見えない幽霊でした。そして自分たちの居場所を見つける旅が始まります。 (やまぐち)

本といっしょに
不思議な世界を旅しよう♪

